品川区の歴史

古くから交通と交流の要として栄えてきた品川。ここには、歴史に育まれた知恵と、新たな挑戦を受け入れる柔軟さがあります。過去をたどることで見えてくるのは、未来へと続くまちづくりの軌跡。変わりゆく時代の中で、品川は今もなお進化を続けています。

縄文時代〜安土桃山時代

縄文時代（前期）
居木橋貝塚を中心に縄文前期の集落が営まれる

平安時代（末期）
大井氏と品河氏が現在の品川区域を支配

室町時代
品川が海上交通・輸送の拠点として発展

1868〜明治

1869年頃
旧土佐藩下屋敷跡に、日本初のビール工場が建設

1872年
品川〜横浜間で鉄道開通。品川駅が建設

1873年
日本初の近代ガラス工場、興業社設立。
（後の官営品川硝子製造所）

1877年
モース博士が大森貝塚を発見。日本考古学のはじまり

1926〜昭和

1947年
品川区・荏原区が合併、品川区に。初の区長選

1956年
武蔵小山商店街、都内初のアーケード完成

1912〜大正

1914年
東京駅完成。外装用のレンガは品川白煉瓦で作られた

1923年
関東大震災発生、多くの被災者が品川区へ避難

1603〜江戸時代

1601年
東海道第一番目の宿場として品川宿が設置

1639年
徳川家光が沢庵のために東海寺を創建。「たくあん漬」発祥の地!?

1853年
ペリーが来航。海防のため品川台場の築造が始まる

1963年
東京高速１号、
本町～鈴ヶ森間開通

1964年
東京オリンピック開催。
都市インフラの整備が進んだ

1970年
子どものアイデアを取り入れた
「子供の森公園」開園

2019～令和

2019年
「FMしながわ」
（88.9MHｚ）開局

2019年
大井ホッケー
競技場竣工

2021年
東京2020オリンピック・
パラリンピック開催

2022年
品川区立環境学習交流施設
「エコルとごし」オープン

2024年
品川歴史館
リニューアルオープン

2025年
しながわシティラン
初開催

2025年
品川区都市ブランド
「しあわせ多彩区」誕生

1989～平成

1989年
区立総合区民会館
「きゅりあん」オープン

1991年
しながわ水族館オープン

2001年
「すまいるスクール」スタート

2006年
小・中学校で９年間の
一貫教育スタート

2016年
大崎駅西口バスターミナル完成

2017年
区制70周年。シナモロールが
しながわ観光大使に！

© 2025 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L655975

2018年
しながわ2020スポーツ大使任命

人・もの・技術が行き交う、時代をつなぐまち 品川